

第2回 分権社会政策研究所・新春セミナーのご案内

主催 分権社会政策研究所 代表 宮越 馨

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は国政も市政もかじ取り役が変わりましたが、本年においては、県政のかじ取り役を決める極めて重要な年になります。

そうした中、当分権社会政策研究所においては、これまでに、人口減少対策としての「子ども年金制度」の提言や、農山村の持続社会を守るための地域コミュニティ毎に経営する「コミュニティカンパニー」制度などの政策提言をして参りましたが、今後における上越地方を更に発展させる政策課題は何かを、大所高所から見てピックアップし、その方向性について調査研究することとしております。

この度のセミナーでは、現時点での研究課題を示しながら、その一部である上越の地域医療特に直江津労災病院問題や保倉川の放水路問題、県・市の財政問題などについて、その対処方針などについて明らかにすることとしますので、是非とも大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

●テーマ●

上越地方の発展のための調査研究に関する課題について

日時 令和8年1月25日(日) 午後3時より約1時間半程

場所 直江津レインボーセンター1F大ホール 上越市中央1丁目16-1
TEL: 025-544-2112

講演 分権社会政策研究所 代表 宮越 馨
(前市議・元県議・元市長・元財務省主計局主査)

ゲストスピーカー 国府の里施設長 江塚 勇氏
(元労災病院・上越総合病院医師)